

進路だより

—それぞれの夢に向かって—



微笑む進路 MUHS 進路指導部

第 6 号

13.10.15



本校生徒・保護者・本校を目指す中学生・保護者の皆様へ 進路だよりはイチゴの日

- B週 15日(火) 第1回修学旅行引率者会議
16日(水) 月曜日の授業 大掃除
17日(木) 合同職員会議
18日(金) 合同学校保健委員会
19日(土) 休業日
20日(日)
- A週 21日(月) 中間考査(～23日)
22日(火) 3年受験用写真撮影
23日(水) 3年合同HR、2年合同総合
2年県立大学模擬講義(理学療法・看護)
24日(木) 45分授業 生徒会役員認証式
25日(金) 1年集団宿泊研修引率者会議
26日(土) 第2回サイエンスアカデミー
27日(日) 1年校外模試(希望者・駿台)
- B週 28日(月) 3年合同HR、2年実力テスト(7、8限)
1年合同HR
29日(火) 1年宿泊研修(～30日) 2年実力テスト(1～7限)
30日(水) 3年学年PTA
31日(木) 中高人権教育講演会 高校職員会議
中高合同職員研修会
- 11月 1日(金)
2日(土) 休業日
3日(日) 文化の日 1年校外模試(河合・Z会)
- A週 4日(月) 振替休日
5日(火) 1、2限授業 芸術鑑賞教室
教育実習(～22日)
6日(水)
7日(木) 1年実力テスト(1～6限)
8日(金)
9日(土) 公開授業
10日(日) 3年校内模試(駿台ベネッセ 全員) 1年校外模試(河合)
- B週 11日(月) 3年総合学習講座Ⅲ 2年合同HR
12日(火)
13日(水) 大掃除 合同職員研修会
14日(木) 県民の日
15日(金) 大掃除 生徒指導研修会 高校職員会議
16日(土) 休業日
17日(日)



【 センター試験まで3ヶ月 】 センター試験までにやるべきこと

10月2日(大安)に志願票を郵送して来ました。10月9日前後に志願票受領葉書が届く予定です。その後、11月までに確認葉書が学校に届きます。届き次第それを配布します。皆さんは保管してある志願票のコピーで記載内容に誤りがないか確認して下さい。

- ① 誤りがなかった場合 → そのまま何もせず。
- ② 誤りがあった場合 → 受験案内の p 32 p 25 の訂正届と確認葉書のコピーを学校に提出 **11月6日(水)までに** 集約して、学校で送付します。

10月は、「学力蓄積期」です。この時期に模試で良い判定が出ることは稀です。

4月～11月	11月～12月	12月～2月
「学力蓄積期」	→ 「知識整理・理解期」	→ 「答案作成期」
IN PUT から	知識を自分のものにして	OUT PUT へ

この時期に一番大切なことは、

「自分を信じ、焦らない」・「今自分がやらなければならないことを確実にやる」

センター試験までの期間を区切ってやることを決める。

- ① 第1期(～11月中旬) 赤本などで過去5年間の問題傾向を把握
私大(早慶上智MARCH)入試対策・国公立二次・小論文対策
- ② 第2期(11月中旬～12月中旬) 苦手科目・苦手分野から逃げない
この時期に伸びる科目は、数学、地歴公民、理科。
90点科目を伸ばすより50点以下の科目を70点にする方が容易
- ③ 第3期(冬休み) センター試験対策にシフト(センター試験は訓練だ!)
センター試験の過去問・今までの模試問題、授業ノートなど復習に重点
この時期は「新しいもの」に手をつけない
※ 今年は始業式1/8・センター試験は1/18・19
- ④ 第4期(始業式～本番) 本番を意識した「時間配分」を心がける
センター試験利用私大の出願(センター試験前出願、後出願あり)
インフルエンザ予防接種、うがい、乾燥対策、虫歯治療、朝型への切り替え

入試戦略を立てる

1 志望校を決める

現在の学力を考慮しながら（当然伸びる）将来の夢、やりたいことなどを思い浮かべ、第1～3までくらいを考える。

2 合格最低点を確認

べつに一番で合格する必要はありません。まず、何点取ればクリアできるのか調べましょう。過去3年分を見て、合格に必要な目標得点を設定します。

3 得点プランを立てる

志望校の試験科目・配点・難易度を調べ、設定した目標得点の内訳を考えます。例えば東大文Iは満点が550点です。センター試験は900点満点を110点に圧縮換算します。個別入試の満点が440点です。過去三年の合格最低点の平均はおおよそ65%です。目標は360点に設定します。センターでは87%は取りたいところです。（後期を考えれば90%欲しいですが。）センターで87%は783点なのでこれを圧縮すると95点となり、個別では265点が目標です。英語 90/120 国語 75/120 社会 80/120 数学 20/80 というように科目別に目標点を定めます。

4 やることを決め、スケジュールを立てる

目標点を取るためには何をしたら良いかを考え、（よく分からない場合は先生に相談）参考書、問題集、過去問、模試等のスケジュールを立て、実行するのみです。

アウトプット学習をしよう

まず、「アウトプット学習」に対しての「インプット学習」とは知識を入力していく勉強法のことです。単語・文法・年号・地名・人名・公式などを記憶していく段階での勉強法です。それに対して「アウトプット学習」は①自分の弱点を発見して克服すること②試験で得点する技術を身につけることを目的とした学習法です。「知識があること」と「問題が解けること」は同じではありません。ギターの弾き方を知識として知っているだけでは上手く弾けないのと同じです。まずは問題演習を通して弱点を探します。なぜ間違えたのかを考え、正解そのものを見て納得するのではなく、**正解を導き出すまでの過程**を身につけるようにしましょう。そして、**同じミスを繰り返さない**ようにします。



©fumira

アウトフット学習のポイント

- 1 「間違っただけでラッキー」くらいの気持ちで
本番前に弱点が分かったのだから、ラッキーです。本番では間違えません。
- 2 解答を読んで満足しない
正解そのものではなく正解に至る過程を理解しましょう。
- 3 部分点を計算する
入試では部分点が合否を分けます。そういう意味での添削指導を先生にお願いするのも重要です。また、友人同士で添削するのも良いでしょう。
- 4 解くべき問題と解けなくても良い問題を区別する
超難問は後回しにして、先に時間を掛ければ解ける問題を解くことが「得点」を稼ぐコツです。
- 5 解答時間と見切り時間を計る
問題を見て解答時間を予測する力や、超難問を見切る力は入試に不可欠です。この時期からこうした力を身につけるべく訓練しましょう。

インプットしたものを**模試**で

吐き出（アウトフット）します。

☆知識がある≠問題が解ける

知識を「問題を解く力」に変えるのが演習の目的

☆問題を解く力がある≠得点できる

問題を解く順番、時間等を考慮することで得点力アップ

※ **合格最低点は6～7割でOKです。第一志望に合格するための戦略を立てて、これからの学習計画を立てましょう。**



【 進路指導部より 】 — 11月以降の願書配布について —

本校では毎年「押さえの大学」の願書を充実させるようにしています。毎年センター試験で思い通りの結果が出なかった生徒や押さえようと思っていた私立大学から「合格」を取れなかった際に、進路室で相談の上渡したりすることもあるためです。

受験では「押さえ」が大切です。女子は特に受験当初に「合格校」があると精神面でかなり楽になります。立教が本命だから早稲田は受けないという人もいますが、たとえ立教が本命でも自身の受験の最終日が立教だと緊張するので、後に早稲田の試験があると思えば、立教の入試のとき幾分緊張が解けると思います。過去には、挑戦するつもりで受験した早稲田と慶應義塾の両方に合格した生徒もいました。